

交流の始まり



歴史的ゆかりから始まった縁

—白石市とのつながり—

旧仙台藩白石城主片倉家が登別開拓の礎を築いた歴史的ゆかりをきっかけに、昭和58年10月、登別市と白石市は姉妹都市提携の盟約を締結し、現在に至るまで、文化、スポーツ、教育などの分野で交流を深めてきました。



白石市がつないだ縁

—海老名市との交流—

平成20年11月に開催された白石市農業祭で、海老名市と姉妹都市提携を結ぶ白石市の市長の仲介のもと、登別市長と海老名市長の懇談が行われたことに始まりです。

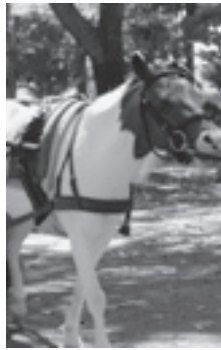
広がる交流 羽ばたく未来

登別市・白石市・海老名市 トライアングル交流

平成22年4月、海老名市から登別市へ消防車5台が寄贈され、そのお礼として同年10月に、登別市からポニー2頭を贈呈しています。



▲海老名市から寄贈された消防車



▲登別市から贈呈したポニー。海老名市では子どもたちの人気者です

災害時の相互支援

平成22年4月に登別市、白石市、海老名市の3市で、大規模災害発生

時に互いに助け合うことを目的に、『危機発生時における相互応援に関する協定』を締結しました。平成24年11月に登別市で発生した大規模停電では、白石市と海老名市から多くの食料や使い捨てカイロなどの支援物資が届きました。

トライアングル交流へ

平成23年4月には、登別市、白石市、海老名市の3市の更なる発展と



広がる交流

交流を深めようと『トライアングル交流宣言書』に調印し、『家族、姉妹、兄弟、友達』のような関係を築き、さまざまな分野での交流や相互支援を積極的に行うことを宣言しました。

姉妹都市提携やトライアングル交流をきっかけに、登別市の幌別地区手づくり祭り、海老名市の市民まつり、白石市の農業祭など、各市で物産展を開催し、それぞれの物産品をPRしています。登別市は、『登別ブランド推奨品』を中心に販売。毎年、登別市の物産品を買つことを楽しみに会場に足を運ぶ方も多く、各市の市民との交流も活発に行われています。

両市の交流を市民で 盛り上げていきたい



登別市姉妹都市等都市間交流協会会長
ひの やすのぶ
日野 安信さん

海老名市とは、登別市連合町内会や登別市文化協会など、各団体の交流をはじめ、子どものスポーツ・文化交流も積極的に行われるようになり、教育にとっても良い機会となっています。

交流で生まれる、互いの歴史やまちづくりについて学ぶ機会を通し、より親密な市民同士のお付き合いにつながっていくと思います。市民の交流を通して、きずなを深めていきたいですね。

海老名市と白石市は、平成6年10

海老名市・白石市姉妹都市 提携20周年のお祝いの席へ

平成25年から26年にかけては、登別市連合町内会と登別市文化協会が海老名市の各関係団体との交流を開始し、互いの組織の課題や取り組みなどについて情報交換しています。

さらに、3市のつながりは小学生の『絵画作品交流展』、中学生の『ふるさとのまちを語る交流事業』、『少年野球交流大会』など、子どもたちの交流へと発展しています。平成23年度からは、海老名市の市民訪問団が毎年登別市を訪れるようになり、今まで4回の訪問で、約1千200人が登別温泉やカルルス温泉に宿泊。同訪問団は、札内町の『交流の森』で今後も交流が続くことを願い、記念植樹を行っています。

登別市は、この2市の記念すべき20周年をお祝いするため、登別市姉妹都市等都市間交流協会会長を団長とし、登別市連合町内会会長と登別市文化協会会長を副団長とする市民訪問団と、市長、市議会議長のほか、登別観光協会、登別室蘭青年会議所



▲海老名市・白石市姉妹都市提携20周年記念式典

月に白石市の市制施行40周年記念式典で、姉妹都市提携の盟約を締結し、昨年で20周年を迎えました。

『登別市・海老名市姉妹都市 締結への決意書』に署名

の関係者など総勢47人が、昨年11月に行われた『海老名市・白石市姉妹都市提携20周年記念式典』に参加しました。記念式典では、今後も海老名市・白石市の両市発展のために取り組んでいくことが300人の出席者を前に約束されました。

『海老名市・白石市姉妹都市提携20周年記念式典』の後に行われた祝賀会では、これまでの登別市・海老名市の交流を踏まえ、白石市長立ち会いのもと、両市長が『登別市・海老名市姉妹都市締結への決意書』に署名を行いました。



▲決意書を披露する両市長

3市のこれから ―広がる交流・羽ばたく未来―

白石市との交流は32年、海老名市との交流は6年、そして3市のトライアングル交流から間もなく4年が経ちます。

長きにわたって姉妹都市交流を行う白石市との関係は、揺るぎないものになっています。そして、白石市を通じて生まれた、海老名市とのきずなをこれまで以上に強固なものにするため『登別市・海老名市姉妹都市締結への決意書』を交わし、両市の意思を明確にしました。

観光や経済、教育、小・中学生を中心とする文化交流、スポーツ交流にとどまらず、災害に見舞われた場合など、互いに支援が必要なときに助け合う関係は、今後の登別市にとって大きな財産となります。

現在、行政だけではなく、市民間の積極的な交流が展開され、きずなはよりいっそう強くなっています。市は、今後も、異なる地域特性と魅力を持つ3市の友好関係をさらに深め、互いのまちの発展につなげていきます。

問い合わせ
総務グループ

(☎) 1130